

**製品名: p53 (アセチル Lys370) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06239**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	53kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TP53
別名	TP53; P53; Cellular tumor antigen p53; Antigen NY-CO-13; Phosphoprotein p53; Tumor suppressor p53
遺伝子 ID	7157.0
SwissProt ID	P04637
免疫原	抗血清は、Lys370 のアセチル化部位周辺のヒト p53 由来の合成アセチルペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 331-380

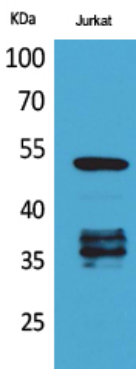
**背景**

核タンパク質である腫瘍タンパク質 p53 は、細胞周期の制御、特に G0 期から G1 期への移行において重要な役割を果たします。正常細胞では非常に低濃度で存在しますが、様々な形質転換細胞株では高発現しており、形質転換および悪性化に寄与すると考えられています。p53 は DNA 結合タンパク質であり、DNA 結合、オリゴマー形成、および転写活性化ドメインを有します。

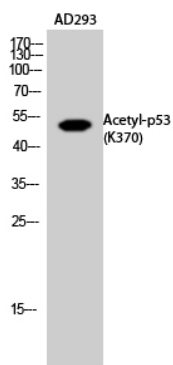
## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;Cell\_Cycle\_G1S;Cell\_Cycle\_G2M\_DNA;p53;アポトーシス抑制;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;WNT;WNT-T 細胞神経栄養因子;筋萎縮性側索硬化症 (ALS);ハンチントン病;がんの経路;結腸直腸がん;膵臓がん;子宮内膜がん;神経膠腫;前立腺がん;甲状腺がん;基底細胞がん;黒色腫;膀胱がん;慢性骨髄性白血病;小細胞肺がん;非小細胞肺がん;

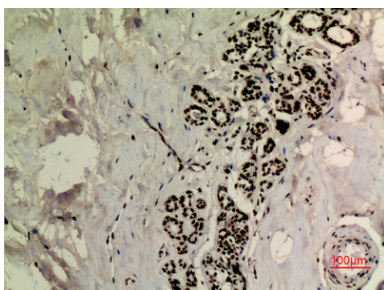
## 画像データ



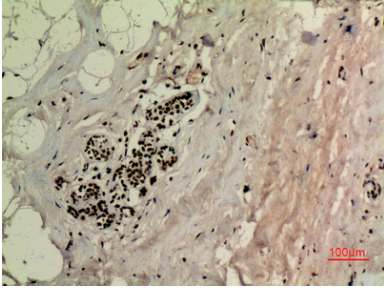
アセチル p53 (K370) ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



AD293 細胞のアセチル p53 (K370) ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いたウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト乳房の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト乳房の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された